

水害犠牲者を 豊岡市から一人も出さないために できることを考える

国土交通省 近畿地方整備局
豊岡河川国道事務所

(資料提供・編集協力) 豊岡市

令和元年 東日本台風

主に、10月中旬～

長野県

写真) 出展:時事通信社「崩落した上田電鉄別所線の千曲川に架かる鉄橋＝長野県上田市(時事通信特別機より)(2019年10月13日)」
統計) 出展:消防庁「令和元年台風第19号及び前線による大雨による被害及び消防機関等の対応状況(第58報)」2019年11月25日9時00分

死者98名

※10月25日からの大雨による被害を含む

行方不明者1名

撮影地) 長野県上田市(2019年10月13日)

令和2年7月豪雨

熊本県



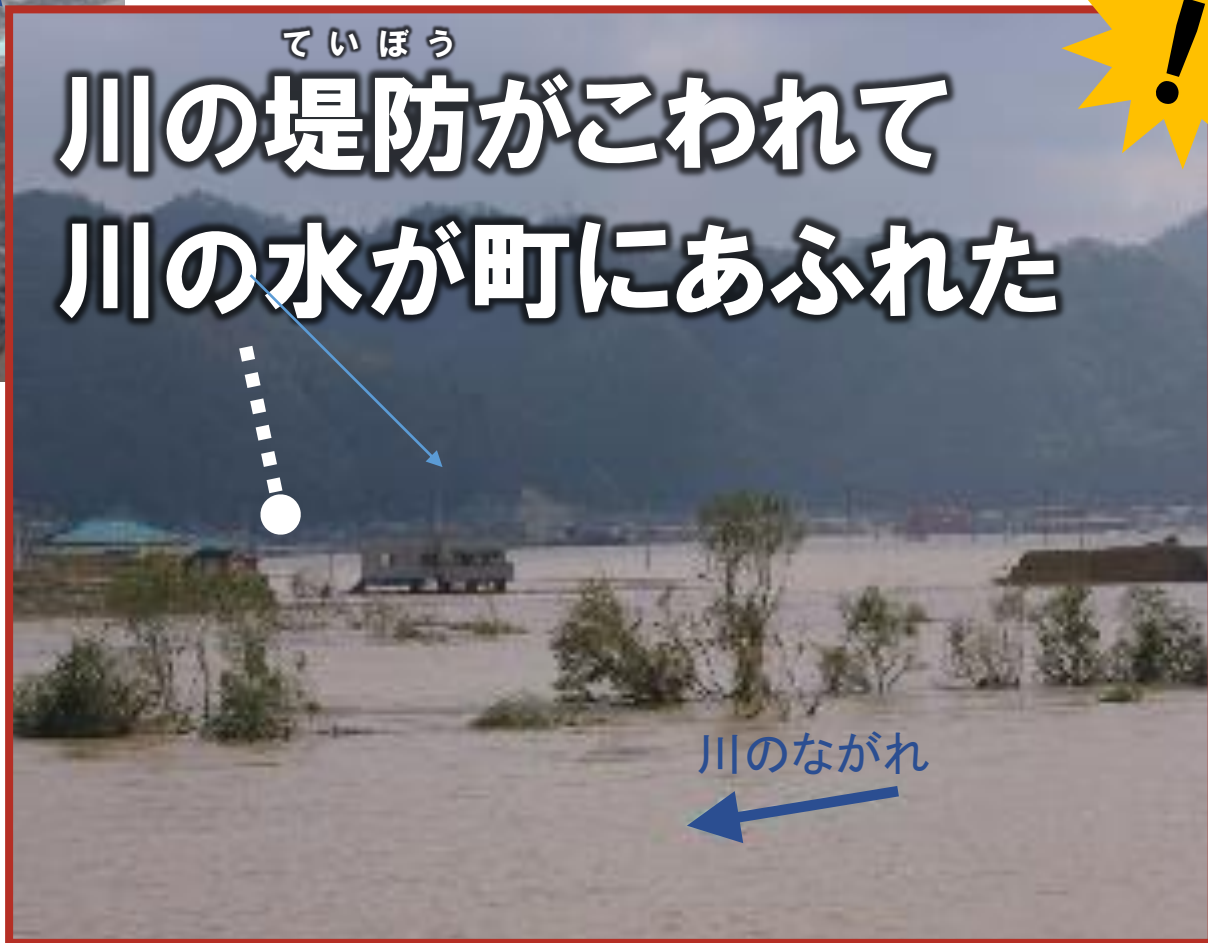
撮影地) 球磨川(熊本県八代市坂本町) <国土地理院2020/07/04撮影>

平成16年 台風23号



とよおかし たちの
豊岡市立野 上空

とよおかし たちの まるやま
豊岡市立野(円山川右岸)



平成16年 台風23号

たくさんの家が水びたしになった



とよおかし たちの
豊岡市 立野

車が流された



とよおかし いすしちよう
豊岡市 出石町

水害時、たいせつなこと

早めの避難行動=命を守る

避難所避難

命を守る
最終手段のひとつ



在宅避難



※おうちが安全な場合

分散 避難

しんせき ちじん
親戚・知人宅
ホテル



車中避難



⚠ エコノミークラス症候群

昔、**災害**があったなら
また**起こってしまう**災害が豊岡であった
平成
かもしれない

将来、豊岡で**災害**が
最近、**日本のどこか**で？
大雨・台風で
被害が起きている

今日の学習のめあて

水害犠牲者ゼロを目指して
中学生の自分たちに
できることを考える

毎年、水害で犠牲者が でてしまっています

平成29年 九州北部豪雨

主に2017年7月5日
～7月6日

死者**40**名
(福岡県37名、大分県3名)

行方不明者**2**名

写真：国土交通省「平成29年7月九州北部豪雨に関する資料：前半半表（被害概要・土砂災害・川の被害）」
統計：消防庁「平成29年6月30日からの出動記録に伴う大雨及び台風第2号の被害状況及び消防機関等の対応状況について（第75報）」平成30年9月22日16時00分



平成30年 7月豪雨

主に2018年6月28日
～7月8日

死者**263**名
うち51名 倉敷市真備町

行方不明者**8**名

写真：国土交通省中国地方振興局「平成30年7月豪雨による中国地方新県域内での出水状況【第1報】7月10日（火）9時現在」
統計：消防庁「平成30年7月豪雨及び台風第12号による被害状況及び消防機関等の対応状況（第60報）」2019年8月20日13時00分



撮影地：高梁川水系高梁川川岡山県倉敷市真備町（平成30年7月）

令和元年 東日本台風

主に、10月中旬～

死者**98**名
※10月25日からの大雨による被害を含む

行方不明者**1**名

写真：時事通信社「崩壊した上山電気特別道の千由川に突かる建物―長野県上山市（時事通信特別撮影）」（2019年10月13日）
統計：消防庁「令和元年台風第19号及び前線による大雨による被害及び消防機関等の対応状況（第58報）」2019年11月25日9時00分



撮影地：長野県上山市（2019年10月13日）

2020年

令和2年7月豪雨 (九州豪雨などの呼び名も)

写真) 出展：国土交通省 中国地方整備局 「平成30年7月豪雨による中国地方整備局管内の出水概況【第1報】7月10日(火) 9時現在」
統計) 出展：消防庁 「平成30年7月豪雨及び台風第12号による被害状況及び消防機関等の対応状況(第60報)」 2019年8月20日13時00分

熊本県



撮影地) 球磨川(熊本県八代市坂本町) <国土地理院2020/07/04撮影>

2019年

令和元年東日本台風

(令和元年台風19号)

写真) 出展：国土交通省 中国地方整備局 「平成30年7月豪雨による中国地方整備局管内の出水概況【第1報】7月10日(火) 9時現在」
統計) 出展：消防庁 「平成30年7月豪雨及び台風第12号による被害状況及び消防機関等の対応状況(第60報)」 2019年8月20日13時00分

長野県



撮影地) 長野県上田市(2019年10月13日)

2018年 平成30年7月豪雨 (西日本豪雨災害)

写真) 出展：国土交通省 中国地方整備局 「平成30年7月豪雨による中国地方整備局管内の出水概況【第1報】7月10日(火) 9時現在」
統計) 出展：消防庁 「平成30年7月豪雨及び台風第12号による被害状況及び消防機関等の対応状況(第60報)」 2019年8月20日13時00分

岡山県



撮影地) 高梁川水系高梁川:岡山県倉敷市真備町(平成30年7月8日(日))

2018年

平成30年7月豪雨

(西日本豪雨災害)



昭和五十一年九月十二日
台風十七号による浸水

撮影地) 岡山県倉敷市真備町川辺 川辺小学校敷地内 <国土地理院・自然災害伝承碑>

2004年
平成16年 台風23号

豊岡市



豊岡市 江本（円山川右岸）

2004年
平成16年 台風23号



赤崎橋

撮影地) 兵庫県豊岡市日高町浅倉 <国土地理院・自然災害伝承碑>

どうして

このような石碑が建てられたのでしょうか？



どうして

このような石碑が建てられたのでしょうか？



このような石碑を建てた人たちは

誰に向けてどんな思いで建てたのでしょうか？

2004年

平成16年 台風23号



赤崎橋

治水祈念の碑

平成十六年十月二十日、台風二十三号により、この地にて**二人の尊い命**が失われた。
ここに慰霊とともに、治水整備への**願いと誓い**を込めて、治水祈念の碑を遺族、周辺住民の志により建立する。

撮影地) 兵庫県豊岡市日高町浅倉 <国土地理院・自然災害伝承碑>

昔の災害を
後世に伝えるため

後世の人たちに
つらい想いを
させないため

治水祈念の碑



＼ 一緒に考えましょう /

水害犠牲者を出さないために、
わたしたちは、
どうしていけばいいのでしょうか？

グループで



【学習のまとめ】

今日の授業でわかったことや
考えたことを書きましょう

ふりかえり

- **石碑に託された思いを感じ取り
今日から、今から自分がまずは取組む**
- **地域への働きかけもチャレンジ**

おわり

**水害犠牲者を豊岡市から一人も出さないために
できることを考える**

学習のねらい	水害犠牲者を出さないことを目指して、中学生の自分たちにできることを考える	
	Step1：現代の水害リスクを事例から感じ取る Step2：先人の思いに触れ、地域全体で備える必要性を再認識する Step3：地域に向けて自分たちにできることを考える	
必要物品・資料	<input type="checkbox"/> テーマ③:説明用パワーポイント <input type="checkbox"/> テーマ③:ワークシート	<input type="checkbox"/> プロジェクター・スクリーン <input type="checkbox"/> レーザーポインター（もしくは差し棒）

学習活動	ppt	発問例と予想される生徒の反応例 発問・指示(●) 予想される反応(・)	指導上の留意点 支援(◆) 評価(☆)
学習の題目 1分	1		
導入 計10分			
1. 学習のねらいを確認する			
1-① 近年の全国で発生した水害や、豊岡市で過去に水害が発生したことを知ること、水害への危機感を高める	2-3 4-5 6 7	<ul style="list-style-type: none"> ● 毎年、全国で水害などの災害が増えている、たくさんの被害が出ており、多数の人が亡くなってしまいました。 ● この豊岡市では、平成16年台風23号によって大きな被害を受け、市内で7名の尊い命が失われました。 ● 水害時に大切なことは「早めの避難」です。 ● また、本年度は、新型コロナウイルスの影響から、「分散避難」の必要性が指摘されています。避難所に集中すると“密”となるため、自宅が安全な場合には自宅、親戚知人宅など、集中せずバラバラに避難することが勧められています。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 令和2年7月豪雨や、豊岡市での水害の写真等を提示する。 ◆ 水害避難のポイントを復習する。 ◆ 水害が起こりそうな状況を思い起こさせ、避難行動についての関心を高める。 ◆ 参考動画を上映してもよい。(巻末参照)
1-② 学習のねらいを確認する	7	<ul style="list-style-type: none"> ● 今日は、「水害犠牲者を豊岡市から出さないためにできること」について考えていきましょう。 	
展開 計30分			
2. 水害に関する石碑について考える			
2-① 水害に関する石碑について知る。	8-14	<ul style="list-style-type: none"> ● 毎年のように水害が発生しています。そのうち、平成30年7月豪雨で大きな被害を受けた岡山県倉敷市には石碑が残されています。 ● 石碑には、「昭和五十一年九月十二日台風十七号による浸水」と彫られています。平成30年よりもずっと前にも水害があったということです。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「避難」について復習する。 ◆ 生徒(数名程度)を指して、答えさせる。
2-② 石碑に込められた思いに馳せる	15-16 17	<ul style="list-style-type: none"> ● この豊岡市にも、水害に関する石碑が残されています。 ● 岡山県倉敷市ほど前ではなく、皆さんが知っている「平成16年台風23号」を受けて建てられた石碑です。 ● ここで皆さんに聞きます。どうして、このような石碑が立てられたのでしょうか。 ・ 将来の世代に、水害があったことを伝えるため。情報を残すため。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 見たことあるか、場所がわかるか、手を挙げてもらう。 ◆ 生徒(数名程度)を指して、答えさせる。 知識及び技能

学習活動	ppt	発問例と予想される生徒の反応例 発問・指示(●) 予想される反応(+)	指導上の留意点 支援(◆) 評価(☆)
2-② 石碑に込められた思いに馳せる	18 19-20	<ul style="list-style-type: none"> ● その出来事を伝えるだけ？ 何かメッセージも含まれていないかな？ 誰に向けて、どんな思いで立てたのでしょうか？ <ul style="list-style-type: none"> ・ 後世の人たちに、自分たちと同じつらい思いをさせたくない。 ・ ちゃんと水害に備えて、今後こそ、犠牲者を出さない町にしたい。 ● 事実はわからないけれど、石碑を建てた人たちはそういったメッセージも伝えようとしたんだと、先生は思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 思いに馳せるよう問いかけをする。 ◆ 生徒(数名程度)を指して、答えさせる。

3. 水害犠牲者を出さないためにできることを考える

<p>3-① 水害時の避難行動について考える</p> <div style="border: 1px dashed red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>Point:アクティブラーニング グループ活動(意見交換) 意見を共有することで、多様な考えがあることへの理解を促す。</p> </div>	21	<ul style="list-style-type: none"> ● 過去の水害という出来事を、みんなは勉強しているはずですが、また、今回、その当時の思いにも触れるような想像を授業のなかでしてみました。 ● もちろん、今日のテーマにあるとおり、水害犠牲者にならないために、まずは自分自身がきちんと備えることが必要です。でも、豊岡市の地域みんなで備えないと、このメッセージをちゃんと受け取ったとは言えないようにも思います。 ● では、私たちは、その出来事を知って、先人の思いを知って、どうしていけばいいのでしょうか。グループで話し合ってみましょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ まずは、自分がしっかりと備える。 ・ 大雨のときには、早めに避難する。 ・ 避難場所、避難経路の確認。 ・ 非常持ち出し袋を準備する。 ・ 地域の人にも教える。伝える。 ・ まずは、家庭内での防災会議。 ・ 地域の避難訓練に参加する。 ・ 水害の危険があるときには、近所の人の避難を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ まずは、自分がきちんと備えることが大切であることを再認識させる。 ◆ 自分だけでなく、地域みんなで取り組むことができれば、豊岡市からの犠牲者を出さないできることを伝える。 ◆ 生徒たちから意見があがりづらい場合には、段階を踏んで考えさせる。①まずは自分、②次に家族のため、③地域のために。など <p>☆ グループで協力し合いながら意欲的に取り組もうとしている。</p> <p style="background-color: #f96; padding: 2px; display: inline-block;">主体的に学習に取り組む態度</p>
3-② 水害時の避難行動のポイントを確認する		<ul style="list-style-type: none"> ● みんなの考えたことは、それぞれ正解だと思う。だけど、いまの君たちはそれをできているのかな？ 今日から、今からできることを、できる範囲で取り組んでみよう。 	

まとめ 計**10分**

4.ふりかえり

<p>4-① ワークシートへ記入する</p> <div style="border: 1px dashed red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>Point:アクティブラーニング レポート活動 自分の思ったこと、考えたことをまとめることで、理解を深める。</p> </div>	22	<ul style="list-style-type: none"> ● 今日の授業でわかったことや考えたことをまとめましょう。いま、他のグループの発表を聞いて思いついたこと、家族に教えたことがあったら、それも書いてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 個人意見をワークシートに記入するように促す。 ☆ 思ったことや感じたことを表現できている。
4-③ 本時の学習のまとめをする		<ul style="list-style-type: none"> ● 水害に関する石碑から出発して、昔の人の思いを想像して、自分たちが今後どんな防災に取り組んだらいいかを考えました。 ● 豊岡市で水害、大雨が起きないことが一番望ましいけれど、降ってしまうかもしれません。もしそうであっても、水害犠牲者を出さないために、先生もがんばるし、みなさんも防災を心がけてください。 	<p style="text-align: right; background-color: #0070c0; color: white; padding: 2px;">思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 生徒たちに呼びかける際には、先生自身も当たり前には、防災に取り組む意志があることを示して、子供たちの意欲を醸成する。

授業終了